

金を支出して、この保護事業を保護してゆくといふのは、米國の兒童保護、即ち妊産婦、乳兒保護の爲めに、慶賀すべき事でありませう。

我國に於ても、妊産婦、乳兒保護の聲が盛んになりつつある時に、米國の如き徹底的設備は出来ないまでも、この母性保護法案の如きはよい参考となら

幼兒教育の改善

只今の幼稚園で子供を取扱つて居る有様を見ますと、自分の子供ならあんな幼稚園にはやりたくない、と思はれる事が度々あります。と云つて、別に大した新しい意見もありませんが、かうありたいと常々思つてゐた事もありますから、此處に一寸申し上げて見ませう。

第一に子供の個性の發達に重きを置いて貰ひたい事でありませう。

幼稚園と云へば、三四十人の子供を一組として、或ひは遊戯をさせたり、或ひは唱歌を歌はせたり、或は折紙等の手工を教へたりして居るのでありま

うと思ひます。いはんや、太平洋會議で、世界平和の聲が響きわたらうとしてゐる時に、健全な國民をつくり、意義ある生活を造らせる事は、最も必要な事でありませう。米國がこの時にあたりて、母性保護法案の通過を見たのは、誠に意義ある事と思はれます。

野口 援 太 郎

す、頭腦の早く發達してゐる子供も、比較的によい子供も、皆一樣に遊び半分に、幼稚園で半日を暮してかへると云ふに過ぎないのであります。

勿論、子供をよく遊ばせてやる、といふ事だけでも有益な事かも知れませんが、發達し得べき頭腦を所有してゐる子供にも、幼稚園時代には數をかぞへる事を教へてもいけない、讀みたがる文字も教へるには未だ早い、といふ様にして、他からおさへてやるのは悪いと思ひます。こんな子供には、數もかぞへる事を覚えさせてやればよいし、讀本も尋常一年位のはよめたら讀ましてやつてもよいのです。頭腦

の悪い子に無理に學問を教へる事は悪い影響を及ぼしますが、頭腦の鋭敏な子供には、その子供の要求に従ひさせるといふ事は、決してその子供の身心を害するどころか、その子供の幼い要求の満足を與へて、楽しい子供時代を暮らさせる事になります。

これが私の云ふ、子供の個性によつて、幼稚園教育を施すといふのであります。

カールウイツテが唱へる早教育を研究して見ましても、小さい時に充分精神を發達させたものは、年とつても發達を續けてゆく、といふ事があります。

それですから、幼稚園時代にも、最も人生の意義ある幼年を、たゞ遊ばせる事にばかり費したくないものです。又モンテソリーの「兒童の家」といふのを讀んで見ましても、人一生の身心の發達を左右するものは、實に小學校以前の教育の如何にある、といふ事もありまして、モンテソリーがどんなに子供の個性を認めて、ぐんのくばして行つたかよく解ります。

・小學校の一年生に入學しますと、幼稚園と小學校との境は白と黒とで定まつてゐるやうに、さあ、小學校だからとて、急に讀み方を勉強させる、數を教

へる、といふ風に始めます。何もしらない子供を導く先生の指導の仕方の中々困難でありませうし、子供たちも今迄とは全然異つた生活をしなければならぬかのやうに思ひます。かうでなく、個性を重んじて、幼稚園時代に既に學問を教へるといふ風にしたいものです。

私は、帝國教育會に勤める前には、姫路の師範に居りましたが、その時に、私の考へを具體化して見たいと存じまして、二十名ばかりの男女兒を集めて、先づ風變りの幼稚園のやうなものを設立いたしました。極めて子供を個人的に深く研究して、個人指導のやうなものをやりました。了解をもつた親達は大層喜んで居りましたが、一年ほど立つて、上京するやうになり、殘念ながらこの幼稚園も去らなければなりません。私の次にこの師範に來られた方は、この方面にあまり趣味を持たなかつた人であつた爲め、幼稚園も續きませんでした。父兄方は御親切にもはるく私の所へ手紙をよこされて、もう一度あのやうな幼稚園をどうにかして繼續してゆきたいとの希望を表はされました。もし私が老後に閑暇を得るならば、此の種の理想的幼稚園を

設立したい望を有して居ります。

第二は、幼稚園と託児所との合致を計りたいものがあります。

我が國の幼稚園は、主として中流、上流の子供等の爲めに設立されたものであります。なせ、中上流の子供の爲めにばかり幼稚園が出来たか云へば、幼稚園の歴史をたどつて見れば、直ぐ解る事でありますが、幼稚園はもと／＼私立即ち民間で起つたものであります。政府の補助を得ずに設立するとなれば、維持費として、どうしても保育料の如きものを得なければなりません。保育料を出して子供を幼稚園に送るとなれば、どうしても生活を相當にしてゐる中流以上の家庭の親達でなければ出来ない事になります。これが唯今我が國に、中上流の子供の爲めの幼稚園があつて、下流の子供には幼稚園がない理由であります。

近頃、社會生活が改革せられ、労働が組織立つて来てよりは、所謂労働者階級が生れました。それで大都會の如き工場の多い地では、労働者の父母が晝間働いてゐる中に、子供の世話をするために、託児所といふものが、次第に多くなつて來ました。これ

が下流の幼稚園とも見るべきものであります。

唯今我が國では、全國に二萬四五千の小學校がありますのに、幼稚園はたゞ六百、託児所の如きは東京大阪等の大都市に多少あるばかりであります。これを見ましても、我が國の子供は、殆んど幼稚園教育を経ずして、すぐ小學校に入るのが多いのであります。幼稚園教育は未だ振はざること甚だしいのであります。それで勿論幼稚園とか託児所とか云ふ、子供の教育をする所をもう少し數多く設立したいのです。

現今の幼稚園と託児所とは、全く別の主義を取つて居ります。上中流の子供は幼稚園と名のつくものに通つてはゐる事が、上中流の託児所の役目はなさず、下流の子供は託児所と名のつくものに通つてゐますが、幼稚園の教育は受ける事が出来ないのです。

幼稚園では多く午前中までの短時間であります。その間に、唱歌や遊戯や折紙やを教へられて歸つて来て、午後はまた母親の手足にからまつてゐるといふ風です。上中流の家庭の子供は、皆おとなしくて母親に世話をやかせない、といふならば、幼稚

園は午前中だけでもよろしいのですが、子供は上流でも下流でも、世話のやける事は同じで、その爲めに上流社會では四人も五人もある子供に、女中をひとりづゝつけて、誰は坊ちやま掛り、誰はお嬢さま掛りとしてゐる所さへあると云ひます。こんなに無教育な女中の手にまかせるよりは、立派に教育ある保母の手に子供を指導して頂いた方がよく、その爲めには幼稚園の時間を託兒所のやうに、夕方までのばす必要がありません。

舊臘、教育調査會が開かれた時に、貴族院議員の江木千之氏が、「學校は殺人を犯してゐるやうなものである、劍こそ手にしないが、子供等に長時間の授業を課して、身心を疲勞させ、目に見えざる殺人をしてゐるものである。都會の學校でも、よろしく、二部教授、三部教授をして、時間の短縮をした方がよい、」と云ふ意味の事を云はれましたが、之は間違つて居るではないかと思ひます。

子供の好まないむづかしい所謂學科を、個性を無視して無理に課したならば、江木氏の云はれるやうな事になるかも知りませんが、子供の好むまゝに干渉せず行はせたら決して害にはならぬと思ひます。

前に申しましたモンテソリーの「兒童の家」等は、朝から晩まで續いて居りまして、その間に子供の望むがまゝに讀書算も教へて居りました。つまりは、方法一つによるのであつて、一概に善悪は定められないと思ひます。

又託兒所の方は、幼稚園と違つて時間の長い點に於ては大變結構ですが、多くの託兒所を見ますと、皆がや／＼と遊ばせてゐるきりで、少しも幼稚園に於ける如き、唱歌も眞面目に教へなければ、遊戲もよく教へないと云ふ風で、保母方の身の入れ方が大分違ふ様です。貧民階級の子供は、今迄の父母のしつけが悪いために保母の方々がお骨の折れることはよく存じてゐますが、玉磨かざれば光なしの類で、立派な磨かれぬ寶石がその間に發見されて、未來の國家有数の才と云はれる人物も出来るかも知れませんから、決して託兒所だからと幼稚園と區別せず、もう少し個性を見て、どん／＼色々な事を教へたらよいと思ひます。

フランスあたりの幼稚園を見ましても、時間は朝から夕に至る迄、こちらの託兒所式のもので、そこに於てやさしい讀書算も教へてゐるといふ風です。

モンテソリー等の、もごもごローマの貧民の兒童を集めて始めたものですから、託兒所から始まつて、幼稚園になつたものであります。何しろ上中流の子供は幼稚園、下流の子供は託兒と云ふ觀念を取つて、幼稚園と託兒所とは全然同じものであると人々の概念も、内容もさうしたのであります。さうして將來は、託兒所といふ名でよばれるか、幼稚園と云ふ名でよばれるか、或はまた託兒幼稚園等といふ新しい名でよばれるか解りませんが、何しろ幼稚園と託兒所とが一つになつたやうな子供の爲めの設立が、唯今小學校を至るところに見るやうに波荒れ狂ふ漁村の砂山の上にも、見わたす限り田畑といふ農村の山の上にも出來て、子供等が嬉々として叫ぶ聲が聞えるやうになりたいと望みます。

今まで、幼兒教育は個性を尊ぶべきこと、幼稚園と託兒所との合一とをお話して、私の常々の希望は大體述べたつもりであります。

一體、今迄我が國の幼兒教育は餘りふるつて居りませんでした。幼稚園の數も前述べましたやうに極めて不足ですし、他に幼兒教育の内容も貧弱でありました。これは一つは、國家が幼兒教育を放任して居

ました。又一方では教育家達で、子供を小さい時から集めて色々の教育などとすると弱くしてしまふ等といふ意見をもつてゐる人があつたからでありました。これからは、國家は、小學校の教育を義務教育と稱して補助してゐるやうに、幼稚園とか託兒所等の幼兒の教育も義務教育のやうに、補助をして、官立の幼稚園や託兒所を設立して欲しいのです。教育者方も幼兒の教育をよく解して、頭を新しくして、大いに研究して貰ひたいのです。又近頃、子供を大切にする意味の宣傳がされますのは、大變結構な事でありますが、これらの宣傳なるものは、社會的に子供の保護を宣傳したものであつて、教育的意味に於て宣傳したものでありませんでした。社會的宣傳も、社會が目ざめなくつてはだめでありますからよろしいのですが、もう一度近路を取つて、教育的宣傳をし、幼兒教育に従事する人々の間に、私が以上述べましたやうな事柄を宣傳して、子供の個性教育と、幼稚園託兒所の合一を計りたいものであります。